

2012 国際教養科 NEWS 4月

長野マラソン ボランティア活動(4/14&15)

今年も「長野オリンピック記念長野マラソン」のゴール地点(南長野運動公園)のマラソントウンにおいて、1年生全員が長野県観光部国際課や JICA のスタッフの皆さんとともに、ブース運営に参加いたしました。2年生はビックハットやメトロポリタンホテルでの、外国人選手受付のボランティアに参加しました。



【1年生の感想文から】

●外国人のスタッフの人たちがやさしく声をかけてくれて、たどたどしい英語でしたが、少しずつ英語で話してみました。でも外国人の人たちが英語で話しかけてくるとわからないことがたくさんありました。耳が慣れていないことと経験不足を痛感しました。今回の活動で「もっと勉強しよう」と強く思いました。参加するまでは不安でしたが、終わってみるとすべて楽しいイベントでした。私は子どもたちが好きなので、沢山の子どもたちと触れあえたこともとても楽しかったです。

●会場では長野県の国際課のスタンプラリーのブースの受付係をしました。長野県のALTの先生たちの手伝いをして、小さな子どもたちと接することができました。来てくれた子どもたちは、各国のゲームを楽しんで、賞品としてあげたお菓子を喜んでくれて嬉しかったです。



何回も来てくれる子どもたちもいて、これを機に英語や世界のいろいろな国に興味を持ってほしいと思いました。

私がボランティアをして感じたことは、「もっと英語を話せるようになって、外国人の人たちとコミュニケーションを取り



たい」ということです。自分の言いたいことをスラスラと英語にして話せるようになりたいと思いました。また、様々な方々と関わることのできる良い機会になりました。



●初めて長野マラソンに参加しました。走ってくるランナー全員に多くの人が声援を送る姿を見たとき、こうやって

大会をみんなで盛り上げているんだと思いました。ボランティアの内容は、クイズブースへお客さんを招くこと、スタンプラリーのカード配布などでした。どの仕事も楽しかったです。子どもたちにわかりやすく説明するのに工夫を凝らしたり、積極的に話しかけて宣伝しなくてはなりませんでした。でもとても勉強になりました。

これまで積極的になかなか動くことができなかったのですが、今回のボランティアではかなり積極的になりました。そして中学時代にお世話になった ALT の先生にもお会いして、自分から英語で話しかけることができました。今回の大会は、自分にとって実り大きいものとなりました。



●サンタプロジェクト（長野県国際交流推進協会による外国籍児童就学支援プロジェクト）のお手伝いをしました。最初は何の組織かもわからず活動していましたが、途中から「目的も言わずに募金してくれるはずがない」と気がつき考えなおしました。世界には、学校に通えない子どもたちがいて、彼らを助けるための募金だと知って、一生懸命呼びかけました。すると立ち止まって見る人、遠くからわざわざ募金を持ってきてくれた人、何千円も募金してくれる人、沢山の優しさに触れることができました。活動も楽しくなってきて、もっと大きな声で募金を募りました。小さな子どもが入れにきてくれるととても嬉しくなり、「頑張ってるね」と声をかけてくれる人がいます。頑張ることができました。国際教養科ブースでも、私たちが作ったクイズに答えてもらいました。今回のボランティアで沢山の人たちに会い、人の役に立つことができ良い経験になりました。



●とても暑い一日でした。でも、ボランティア活動はとても楽しかったです。サンタプロジェクトのお手伝いをしましたが、最初は「ご協力お願いします」としか言えなくて、誰も募金してくれませんでした。でも、友達といろいろな意見を出し合って、「もっと工夫しよう」と頑張りました。プロジェクトが何なのか考え、自分たちが理解して、説明をできるようになったら、募金してくれる人が増えました。また、こういうチャンスがあったらボランティア活動に参加したいです。